

札幌工高から感謝状

生徒の職業意識を向上 現場見学会施工業者

札幌工高は19日、札幌建設業協会が同校生徒を対象に実施した、現場見学会の施工業者に感謝状を贈った。建設業の将来を担う生徒の職業意識向

上に対する貢献をたたえた。

見学会は7月に実施し、土木科2年生を豊平川水道水源水質保全取水堰新設（伊藤組土建・勇建設・一三三北路共同体）に、建築科2年生を石山地区新設小新築ほか（田中組・丸竹竹田組共同体）にそれぞれ招いた。この日、札幌市内の北海道建設会館を訪れた猪股康行校長らは、施工業



猪股校長（左）から感謝状が手渡された

らこそ入職してから困らないと思う」と感謝し、引き続き協力を求めた。

者の構成員全社に感謝状を手渡した。猪股校長は「建設業に人材を輩出する同校にとって見学会や職業体験は重要。この経験があるか

の坂田和則常務が「熱心な指導のおかげで、優秀な生徒を建設業に送り込んでいただいている」と謝辞を述べ、田中組の大野孝専務も「建設業を理

解していただき、面白い、えれば喜ばしい」と話しかつこいと思つてもらっていた。

委員は「過去の文献資料に載った希少種は、いるという前提で配慮を」「道路周辺の土地利用をコントロールする担保が必要」など意見を出した。

ヤクヤクやサルメンエビネ、タマミクリを確認。動物では昆虫類でハネビロトンボやナツアカネ、フタスジオオウンカなど、底生動物でザリガニ、両生類でエゾサンショウウオをそれぞれ確認した。